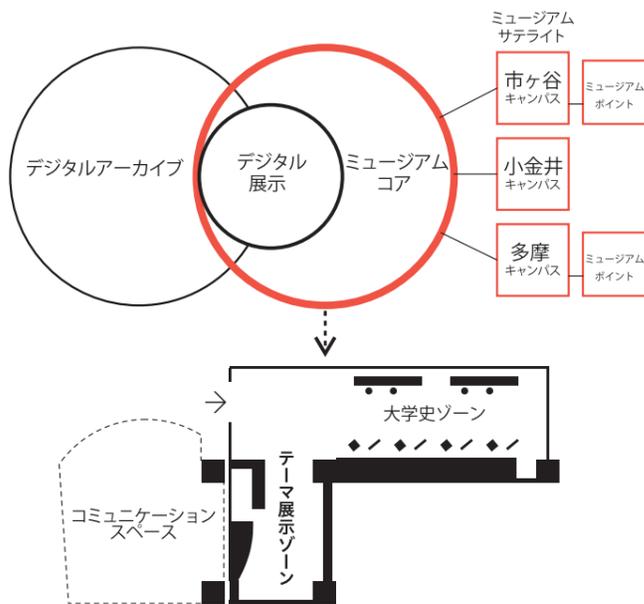


HOSEIミュージアム



■ミュージアム・コア

HOSEIミュージアムの中心となる場所です。内部は、「大学史ゾーン」と、本学の教育・研究の個性を6つのテーマで表現する「テーマ展示」で構成されています。

■ミュージアム・サテライト (市ヶ谷・小金井、多摩は今後設置)

本学3キャンパスにそれぞれ設置し、ミュージアム・コア機能と連動しながら、各キャンパスの教育・研究の個性と結びついた展示活動を行います。また、ミュージアム・コアと連携し、特別展示・企画展示を行います。

■ミュージアム・サテライト市ヶ谷

〒102-8160
東京都千代田区富士見 2-17-1
・サテライト市ヶ谷 (B T) | ボアソナード・タワー 26 階
・サテライト市ヶ谷 (外濠) | 外濠校舎 6 階
※交通アクセスは二次元バーコードをご参照ください。



市ヶ谷キャンパス

【開館情報】

観覧可能時間 | 9:00 ~ 17:00
(月曜日~土曜日 ただし祝祭日・大学が定める休業期間を除く)
観覧料 | 無料

■ミュージアム・サテライト小金井

〒184-8584
東京都小金井市梶野町 3-7-2
・サテライト小金井 | 西館 1 階ホワイエ
※交通アクセスは二次元バーコードをご参照ください。



小金井キャンパス

【開館情報】

観覧可能時間 | 9:00 ~ 18:00
(月曜日~土曜日 ただし祝祭日・大学が定める休業期間を除く)
観覧料 | 無料

■ミュージアム・ポイント

HOSEIミュージアムに関する情報へのリンクを目的として、ミュージアムのHPへ誘導する二次元バーコードを、市ヶ谷キャンパス中庭のベンチなどに設置しています。

ミュージアム・コア 来館案内

開館情報

a. 開館日

火曜日~土曜日

b. 開館時間

10:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

c. 休館日

日曜日、月曜日、祝祭日
大学が定める休日 (夏季休業・冬季休業)、入試期間
※詳しくはミュージアムサイト (以下二次元バーコード) をご確認ください。

観覧料

無 料

所在地

〒102-0073
東京都千代田区九段北 3-3-5 九段北校舎 1 階
TEL | 03-3264-6501 FAX | 03-3264-6504

アクセス

【JR】

総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅 (西口) 下車徒歩 10 分

【地下鉄】

都営新宿線・東京メトロ有楽町線・南北線：市ヶ谷駅下車徒歩 10 分
都営大江戸線・東京メトロ東西線・有楽町線・南北線飯田橋駅下車徒歩 12 分
※HOSEIミュージアムには専用の駐車スペースがございません。
公共交通機関をご利用ください。

ミュージアムグッズについて (販売者：株式会社エイチ・ユー)

本学の学術資源・コレクションをもとにデザインした、HOSEIミュージアム・オリジナルグッズを販売しています。ショップはミュージアム・コアから徒歩すぐの一口坂校舎 1 階情報発信スペース内です。ご来館の際には、ぜひお立ち寄りください。

【法政大学情報発信スペース】

営業時間 | 月~金 9:00 ~ 18:00
土 10:00 ~ 17:00

TEL | 03-3264-5086



情報発信スペース



ご挨拶

本学には、1880年の創設以来蓄積されてきた豊富な学術資源があります。また現在も、優れた研究・教育が学内各所で生み出されており、そのコラボレーションの可能性は無限です。

これらの多様な研究・資源を結び付け、新たな創造を促し、世界に発信する拠点として、HOSEIミュージアムは設置されました。そのために、本学各キャンパスの空間とデジタル空間を広くネットワーク化します。

このミュージアムは、本学学生・生徒の皆さんが法政大学の豊かな歴史と個性を学び、また卒業生の皆さんが学生時代をふりかえりながら、ともに未来を展望するための場です。そして本学関係者以外の皆様にも、法政大学の姿を通じて、大学が社会に存する意味と価値をともに考えていただきたいと願っております。

法政大学

Introducing the Hosei University Museum

Since its founding in 1880, Hosei University has produced and accumulated a diverse wealth of academic resources. That rich legacy continues to grow to this day, as unique research and education flourish throughout the University with boundless possibilities for mutual collaboration.

Recognizing that potential, we established the Hosei University Museum to connect a diverse mix of research and academic resources, facilitate new innovations, and be a hub for speaking to the world. The effort also involves linking the University's campus spaces and digital spaces together in an expansive network.

The Hosei University Museum is a space for a variety of visitors. Through the Museum's offerings, current Hosei students can learn more about the University's history and identity. Graduates can look back on their university days and, together with current students, look forward to what the future holds for their alma mater. The Museum is also a place where, by exploring Hosei University's past, present, and future, visitors can think about the *raison d'être* and value of universities in our society. We hope that all visitors take advantage of everything the Hosei University Museum has to offer.

大学史展示

History of HOSEI University Exhibit

法政の文化と個性の成り立ち

歴史に学ぶ

<大学史ゾーン>

法政大学の成り立ちを4つの時期に分け、デジタルサイネージと実物展示により、本学の文化や個性の由来を表現します。本学草創期の恩人ボアソナード博士の事績など多くのエピソードにより、法政大学とその学生・教職員が時代と社会にどう関わり、何を生み出してきたかを描きます。

戦後の法政大学を支え、2019年にその役割を終えた55・58年館の「手すり」「エレベーターホールの階数表示」などを、ミュージアム・コア内に移設、再利用しています。

1 若者たちによる建学 —こだまする民権・法学知の普及—



法政大学の歴史は1880年に設立された東京法学社からはじまります。薩埵正邦ら若き創立者たち、薩埵の師であるボアソナード、そして法学者の梅謙次郎らが大学の礎を築きました。

2 進取の気象 —総合大学としての発展、そして戦時下へ—



1920年、法政大学は専門学校から大学へと昇格します。大学昇格後、野上豊一郎ら夏目漱石の門下生、哲学者の三木清らが教員となり、新興の大学として新たなスタートを切ります。

3 自由と進歩を追い求めて —戦後法政大学の歩み—



戦後総長に就任した大内兵衛はキャンパスの再建を図るとともに大学の目指すべき理念を指し示し、大学紛争時の総長中村哲は約15年の長きにわたり多くの困難な課題に向き合いました。

4 たゆまぬ変革の明日へ —自由を生き抜く実践知(大学憲章)—



現在の法政大学は日本有数の総合大学です。原点を見失わず、教育と研究の理想を創造的に追求するため、社会との約束として、法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」を掲げています。

5 校歌展示 —学生たち、法政大学校歌を生み出す—



現行の法政大学校歌(作詞:佐藤春夫、作曲:近衛秀麿)は学生たちの主導により制定されました。このコーナーでは校歌の由来について、実際の校歌を聴きながら知ることができます。

テーマ展示

Themed Exhibit

法政の研究・教育の個性

<テーマ展示ゾーン>



テーマ展示ゾーンでは、法政大学の創立以来140年に及ぶ教育・研究の個性を6テーマで表し、毎回1つのテーマを通して、時代や社会と本学の接点を展示・紹介します。

「市民」と「地域」への視点

Civil society and local perspectives



都市問題・市民自治研究や、沖縄文化研究所の存在など、「地域」と「市民」に依拠した研究を展開してきました。

平和の探求

In pursuit of peace



「非核大学宣言」や戦没者への卒業証書授与など、様々な場面で、平和をつくり出す取り組みを行ってきました。

働く人々とその社会の探究

Studies on social and labour issues



働く人々に広く学びの場を開き、大原社会問題研究所をはじめ多様な場で、働く人々とその社会を探究してきました。

対話する「伝統」と「現代」

Tradition meets contemporary times



夏目漱石門下の文学・芸能研究の蓄積は、野上記念法政大学能楽研究所や、国際日本学研究所の拠点へと発展しました。

持続可能性

Studies on sustainability



大学のミッション「持続可能な地球社会の構築への貢献」の実現に向けて、全学的な教育・研究を展開してきました。

文化・芸術・スポーツの群像

The creation of culture, art and sports



芥川賞を初めとした多くの文学者の輩出や、スポーツ文化発展への貢献など、大学は文化の創造も担ってきました。

デジタルアーカイブ

Digital Archives

法政大学の貴重な資料やコレクションをデジタル化して蓄積・管理し、保存や学内外への公開・活用を促進します。



デジタルアーカイブサイト

特別展示・企画展示

Special Exhibits and Planned Exhibits

学内外の研究のコラボレーションを目的とした展示、法政大学の過去・現在・未来を伝える展示等を随時実施します。